



開始しました。シンガポール国立大学(NUS)は、学部生および大学院生を対象とした工業デザイン科を設置し、独水栓金具メーカーのハンスグローエ(Hansgrohe)をはじめ、デル、

エスティローダーやタッパーウェアなどのグローバル企業と連携して学生がデザイン開発の実地経験を積めるカリキュラムを提供しています。また、2011年に開校予定のシンガポール技術・デザイン大学(SUTD)は、デザインとイノベーションのコンセプトを研究開発とエンジニアリングに結びつけた、世界初の教育機関として注目を集めています。

このような数多くのプログラムによりシンガポールは、ビジネスや、創造力、そしてイノベーションを生み育むのに最適な環境の整備に取り組んでいます。アジアの消費者ニーズにあった製品・サービス開発を目指す企業のデザイン拠点としての地位強化を目指しています。

*記事中の通貨換算レートは、1米ドル(USD)=84日本円(2010年12月19日現在)で算出しています

寄稿

アジア新規上場に沸く シンガポール証券取引所—SGX

シンガポール取引所(SGX) 在日東京事務所
與 利博

アジア各国の急成長にともないアジア金融市場への注目が高まっており、こうした新興国の成長を活かして進出を目指す企業の動きがますます活発になっています。日本をはじめ、中国、インド、中東など主要アジア市場に近いシンガポールは、投資信託や個人資産など世界から集まる潤沢な資産の運用拠点として高く評価され、運用総額はおよそ117兆6,000億円(1兆4,000億USD)にのぼります。

世界有数の金融センターとしてシンガポールが台頭するにつれ、シンガポール取引所(SGX)の魅力も高まっています。時価総額アジア第2位の証券取引所であるSGXは、債券や商品先物といった金融派生商品(デリバティブ)などを幅広く扱い、「アジアのゲートウェイ(入り口)」にある国際取引所としてシンガポール金融のさらなる活性化と高度化を後押ししています。

SGXの強みは国際資本へのアクセスにあります。上場企業784社のうち4割強は中国、日本、韓国、東南アジア各国、オーストラリア、インド、ヨーロッパ諸国など海外勢が占めており、アジアを起点に事業拡大を目指す企業が国際資本調達の間としてシンガポールを活用しています。2010年はアジア最大級の物流施設プロバイダー、GLプロパティーズ株式会社(GLP)が不動産企業として史上最大の新規上場を果たしたほか、環境型インフラ投資信託のK-Green Trust社、保険企業プルデンシャル社(Prudential plc)、世界最大のイスラムREITであるSabana REIT、欧州造船会社のSTX OSV Holdingsなども相次いでSGXで株式公開を行いました。有

望企業を求めて世界中から投資会社がシンガポールに集まるため、SGXは資金調達の間であるとともに、投資の間としても高い注目を集めています。

SGX上場企業には、食品加工、製造、輸送・物流、金融、インフラ・不動産、REIT、海洋資源掘削など幅広い分野の企業が含まれています。このため、SGXを通じて事業やプロジェクトの提携先や取引先を見つけることができます。SGXは、上場を目指す様々な企業ニーズを満たすため、大企業向け一部市場であるメイン・ボード(Main Board)と、新興企業向けのカタリスト(Catalist)の2部構成となっています。

SGXでの日系企業の上場も目立っています。現在、食品企業セレボス・パシフィック社(Cerebos Pacific Limited)、ライフサイエンス企業のトランスキュー・グループ・リミテッド(Transcu Group Limited)、野村ホールディングス株式会社や株式会社村田製作所など10社が上場しています。

SGXは引き続き、日本企業の資金調達を積極的に支援できるよう努めてまいります。

*記事中の通貨換算レートは、1米ドル(USD)=84日本円(2010年12月19日現在)で算出しています

SGXウェブサイト(英語) www.sgx.com

筆者

シンガポール取引所(SGX) 在日東京事務所
與 利博
東京都港区虎ノ門4-3-1城山トラストタワー16階
電話: 5403-4680 FAX: 5403-4646
Email: atae.toshihiro@sgx.com